

平成19年11月2日

各位

会社名 株式会社テリロジー
 代表者名 代表取締役社長 津吹 憲男
 (コード番号: 3356)
 問い合わせ先 専務取締役 阿部 昭彦
 TEL (03) 3237-3291

平成20年3月期業績予想(中間・通期)の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成19年8月3日付平成20年3月期中間業績予想の修正に関するお知らせにて公表いたしました平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)の業績見通しおよび平成19年5月22日付平成19年3月期決算短信(非連結)にて公表いたしました平成20年3月期通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年3月期中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	1,600	△155	△165	△104
今回修正(B)	1,148	△337	△348	△614
増減額(B-A)	△452	△182	△183	△510
増減率(%)	△28.2	—	—	—
(ご参考)				
前中間期(平成18年9月)実績	2,159	64	64	27

2. 平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,000	320	300	165
今回修正(B)	3,812	△29	△50	△318
増減額(B-A)	△1,188	△349	△350	△483
増減率(%)	△23.8	—	—	—
(ご参考)				
前期(平成19年3月)実績	4,220	79	66	△277

3. 業績予想の修正理由

<中間>

平成19年8月3日付修正発表後、9月に予定していた通信事業分野での大型プロジェクトの下期への売上ずれ込み、Astaro統合セキュリティ製品をはじめとする新規製品立ち上げの遅れと、エンタープライズネットワーク業界の更なる競争激化により、売上高452百万円、営業利益182百万円、経常利益183百万円の減少見込みとなりました。

これにより、平成20年3月期中間期の売上高は1,148百万円(前回発表時売上高対比28.2%減)、営業損失337百万円、経常損失を348百万円に修正いたします。

上記のような業績が見込まれることから、繰延税金資産の回収可能性につき不確実性が生じたため、繰延税金資産を全額取り崩すこととし、法人税等調整額に225百万円追加計上いたします。この結果、中間純損失は614百万円と予想を下回る見込みであります。

<通期>

通期業績予想におきましては、NGN（次世代ネットワーク）をはじめとする通信事業分野でのAnagranフロールータ、NetScoutネットワーク管理製品販売の立ち上がり、従来の各事業販売部門での堅調な推移、および「取り扱い製品の選択と集中」による経費削減効果が見込まれるものの、上期に発生した新製品の立ち上げの遅れが下期売上にも影響することが予想されるため、平成20年3月通期の売上高は3,812百万円（前回発表時売上高対比23.8%減）、営業損失を29百万円、経常損失を50百万円に修正いたします。

当期純損失は、上期の法人税等調整額が影響し、318百万円となる見込みです。

4. 期末配当予想の修正

期末配当につきましては、今回の業績予想修正に伴い、誠に不本意ながら無配に修正させていただきます。今後、復配に向けて全社を挙げて業績向上に取り組んでまいりますので、株主並びに関係各位におかれましては、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

基準日	1株当たり配当金	
	期末	年間
前回発表予想	500円	500円
今回修正予想	0円	0円
前期実績（平成19年3月期）	—	—

（注）上記業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上